

～ 空・木の実・虫・キノコ・花 みんなで 秋を見つめます ～

相生山の四季を歩く会 #155



2022.9.11

晩夏から初秋の注目種 (9/7下見)					
No	標準和名	漢字表記	科	ポイント	メモ
1	コナラ	小櫓	ブナ	果実,黄葉	葉・果実変化
2	ツクツクボウシ	つくつく法師	カムシ目セミ	アブラ,クマ,ニイニイシシ,ホウシ	
3	キンミズヒキ	金水引	バラ	花,萼	種子散布
4	アレチヌスビトハギ	荒地盗人萩	マメ	花,種子	*別表あり
5	ヤブガラシ	藪枯らし	ブドウ	花,変化	一日花,花盤
6	ガガイモ	蘿藦,鏡芋	ガガイモ	花	古事記
7	ヌルデ	白膠木	ウルシ	花(蕾)	遅い開花
8	ネズミモチ	鼠糲	モクセイ	果実	核果,晩秋
9	クズ	葛	マメ	秋の七草	多用途
10	クサギ	臭木	シソ	果実	萼片,果実
11	ミズヒキ	水引	タデ	花	種子散布
12	アメリカキンゴジカ	アメリカ金午時花	アオイ	花	外来種
13	ススキ	芒,薄	イネ	秋の七草	別名:尾花
14	ハイイロチョッキリ	灰色ちよつきり	甲虫目ホソミ	産卵→食料確保,住み分け	
15	ハギ	萩	マメ	秋の七草	*別表あり
16	ヤマハゼ	山樫	ウルシ	紅葉	小葉紅葉
17	アオハダ	青肌	モチノキ	果実	核果
18	イソノキ	磯の木	クロウメモドキ	果実	核果
19	シャシャンボ	小小坊	ツツジ	果実	液果,晩秋
20	ウスノキ	臼の木	ツツジ	果実	液果,夏

秋の七種の歌 万葉集

山上臣憶良詠秋野花歌二首

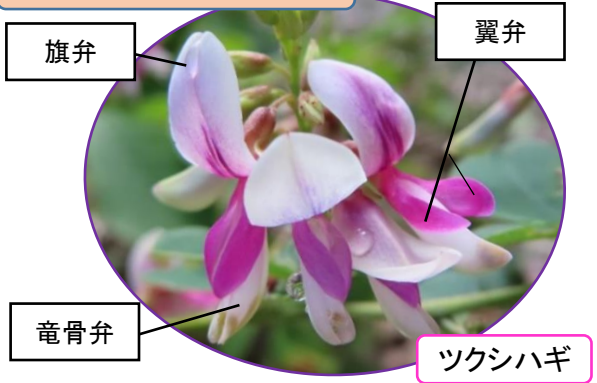
秋野尔 咲有花乎 指折 可伎数者 七種花 卷8-1537

秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびをり) かき数ふれば 七種の花

芽之花 乎花 葛花 瞿麦之花 姫部志 又藤袴 朝兒之花 卷8-1538

萩の花 尾花 葛花 なでしこの花 をみなへし また藤袴 朝顔の花

マメ科=蝶型花のつくり



ハギ (マメ科, ヤマハギ'亜属, ※ヌスビトハギ'属) の比較 共通: 3出複葉, 葉腋から総状花序, 蝶形花, 豆果

No.	標準和名	漢字表記	樹高	葉	葉/表	葉/ウラ	花色	特記
1	ヤマハギ	山萩	1~2m	先端丸い	中央僅か毛	伏毛	紅紫	花序が葉より長い,萼辺先:丸~鋭
2	マルバハギ	丸葉萩	1~2m	先端凹む	無毛	伏毛密生	紫紅	花序が葉より短い,萼辺先:鋭
3	ツクシハギ	筑紫萩	2~4m	変異あり	無毛	伏毛疎ら	淡紅紫+白	旗弁・竜骨弁基部→白,萼辺先:丸~鈍
※4	アレチヌスビトハギ	荒地盗人萩	1m	細く先端丸い	伏毛密生	伏毛密生	青紫	5~6小節果,マジックテープ式くつつき虫,外来
※5	ヌスビトハギ	盗人萩	0.6~1.2m	先端尖る	ごわごわ	毛疎ら	淡江+白	花序が大きく分岐,2小節果,山地帯・固有種



クサギ



ガガイモ(12月)

果実の役割いろいろ=植物の戦略

1. 種子の入れ物
2. 種子の保護
3. 種子散布の工夫...種はどうやって散らばるか
  - ①風 ②水 ③重力 ④自動
  - ⑤動物...食べさせる・貯食・ひつつく・えさを与える

☆森は鳥によってつくられる
4. 食べられないための工夫 ①適期 ②対象
5. 果実の色と形の理由



アオハダ

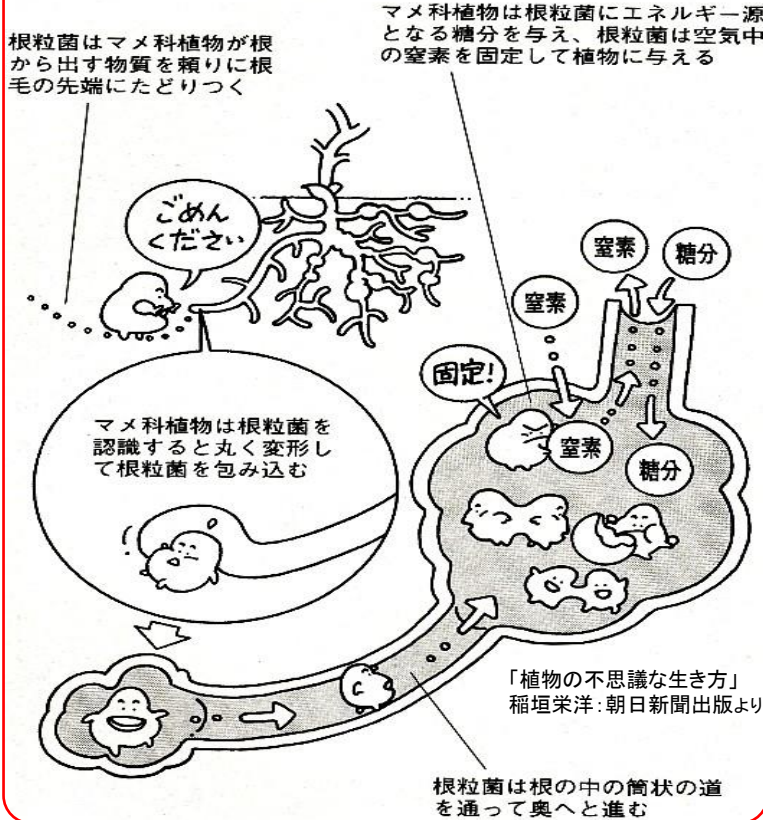


ミズヒキ



続・マメ科 根粒菌による窒素の固定

根粒菌とマメ科植物の共生



相生山の課題を考える

名古屋市は「相生山の道路」について、「異なる価値観による意見の対立を収める折衷案の作成」を市の主導のもとに3,390万円で業務委託しました。

私たちは、意見の対立があるとすると、65年前の「都市計画道路」を、時代の要請や諸情勢の変化、新しい知見などを考慮することなしに強行着手したことに起因していると考えます。

市長が2014年末に「これからは自然を大事に」と計画廃止を宣言した通り、「開発」を抑制して環境を壊さないことは、人類が生き残っていく為に「待たなし」の唯一の方策です。にもかかわらず、「折衷案」を求める市の姿勢は、未来への門戸を閉ざし、世界の人びとへのエールを封じ込める結果となっています。

また「相生山緑地構想」にむけての大きな進展が見られないことの決定的要因は、ここでも名古屋市の「自然を大事にする」ことへの認識が立ち遅れているからに他ならないと考えます。

私たちに何が求められているか、何ができるのか、市のリーダーや行政官たちの猛省と奮起を願うものです。

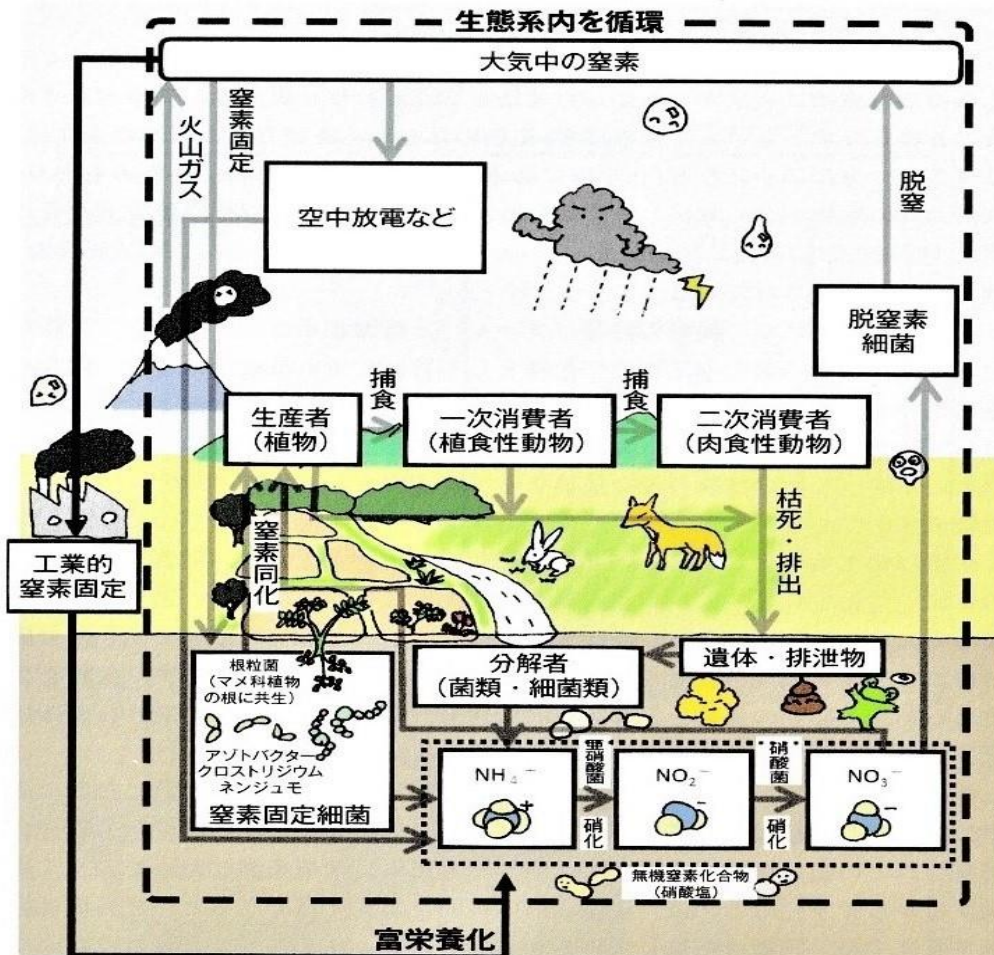
2022.9 相生山の四季を歩く会事務局

次回は 10月9日 9:30~

~ 黄染む森 秋のキノコを楽しもう ~

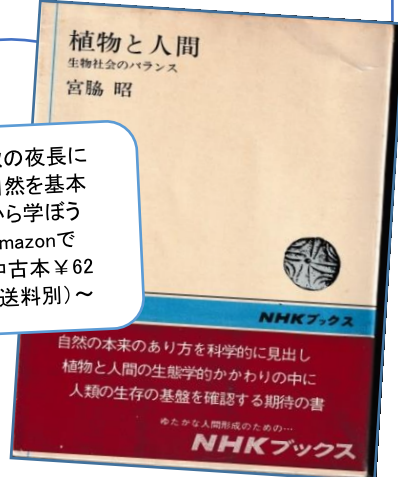
雨でなければ元気な人は 午後も歩こう

窒素が循環する生態系



新版「絵でわかる生態系のしくみ」 鷲谷いづみ/講談社より

生命存続の基盤としての生活環境がおかされ始めている現代、すべての人たちは、まず生きものとしての人間の、自然における位置を考えて欲しい。そこには、人間の生活にも、他の生物と本質的には変わらない生物社会の基本原則が厳然と存在している。人間も地球上のすべての生命体と共存させられており、生物社会の多様なバランスの中でしか持続的な発展は期待できない。(1970年初版まえがきより)



秋の夜長に  
自然を基本  
から学ぼう  
Amazonで  
中古本¥62  
(送料別)~

連絡先(古川)

tell/fax : 052-821-6463

ケイタイ : 080-5124-6463

email : viva\_forest@yahoo.co.jp

ホームページ  
ラブリーアース→検索